



薩摩川内

市議会だより



今回の地域映え

穴野の夕暮れ
水面に映る秋の彩り

Contents

令和7年度補正予算 小学校空調設置ほか	P 2
総括質疑並びに 一般質問	P 3 - 8
議決結果等一覧	P 9
委員会報告	P10-11
視察報告・特集① 学ぼうよ！市議会	P12
意見書・特集② お菓子の好みで 議会を学ぶ	P13

令和7年度補正予算をすべて可決

選挙・学校設備

総務文教委員会
所管部署の補正

参議院議員選挙執行事業

190万6千円

- 法律の公布施行に伴い、参議院議員通常選挙に要する非常勤職員報酬を増額するもの

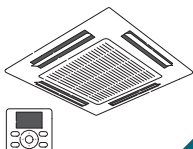


投票箱

特別教室空調設備整備事業

7,178万9千円

- 特別教室空調設置の実施設計により、小学校3校で高圧受電設備の設置等が必要と判明したため、工事請負費を増額するもの



消防・地域医療

生活福祉委員会
所管部署の補正

北薩3消防本部指令センター仮眠室整備事業

1,000万円

- 同センターにおける仮眠室整備について、実施設計により工事費の増額が必要と判明したため、工事請負費を増額するもの



センターイメージ図

地域医療体制検討基礎調査支援事業

550万円

- (公社)川内市医師会が実施する、「将来を見据えた医療の在り方」や、「救急・診療科等の機能分担の必要性」等の基礎調査に必要な経費を補助するもの

防空壕対策・畜産クラスター・移住促進 ほか

産業建設委員会
所管部署の補正

キャッシュレス決済による地域経済対策事業(専決)

4,000万円

- 本事業を期間最終日まで実施できるよう、還元ポイント等に係る手数料を増額するもの



山中地区特殊地下壕等対策事業

2,800万円

- 住宅地背後に現存する防空壕等において、陥没が顕著で危険なことから、埋戻しを行うもの



畜産クラスター事業

1,118万1千円

- 地域の中心的な経営体に対して、畜産の収益性向上を図るため、施設等の整備を支援するもの



移住促進支援事業

22万7千円

- 東京圏の大学生等の地方へのU・I・Jターン促進のため、地方の企業が実施する就職活動に参加する際の交通費や、実際に地方に移住する際の移転費について支援するもの

《反対討論》
今の地域医療に必要なものは、地域医療の担い手を支え、医療体制を守りぬくための明確な支援であることから、病院の統合や再編等で最適化を検討する地域医療体制検討基礎調査支援事業を含む予算案には反対である。

- ① キャッシュレス決済による地域経済対策事業の予算を増額するもの
- ② 特定離島ふるさとおこし推進事業の補助内示に伴う予算の計上
- ③ 国県補助事業の補助内示等に伴う予算の調整等
- ④ 参議院議員通常選挙執行に係る所要の予算の計上
- ⑤ 市道管理のかしによる損害賠償に係る予算の計上

補正予算に係る議案をすべて可決(一般質問は合計3億3千990万8千円の増額)

(第1回～第3回補正の内容)

令和7年度第1回(専決)
第3回補正予算

総括質疑 並びに 一般質問

写真：本会議場

市民目線で市政のここを問う

開催日：6月19日、20日、23日、24日（4日間）

個人質問した17名の議員が、市政全般における市の考えを問い、政策等を提案しました。

このコーナーでは、質問した議員自らがその要点を抽出してご紹介します。



個人質問



佐多 貴文
たかふみ たくさ

県統計協会発表の
市町村所得について問う



問 本市の1人当たりの平均所得が281万5千円との発表を、どのように捉えているか。

答 市民所得向上のため、関係機関と連携して各種支援制度の活用を図り、創業・事業拡大・承継等による市内企業の経営基盤強化を図るとともに、企業誘致・拡張に努めることが必要と考えている。

問 市民1人当たりの所得増加を図るため、どのような取組を考えているか。

答 企業活動の活性化を推進する根幹となる取組が重要と考えている。企業誘致や創業支援を基本としつつ、多様な職種を確保するため、先進自治体を参考に、新たな支援制度を検討していきたい。

女性支援新法と児童虐待の支援強化を

問 DV・性暴力・貧困・孤立といった困難な問題を抱える女性への支援を、

どう強化していくか。

答 現在、こども家庭センターを設置して関係部署間の連携を強化し、相談員を増員して相談窓口の選択肢も増やしている。今後も組織体制を見直す中で、支援体制の充実に向けた議論を進めたい。

防災行政無線の現状を問う

問 戸別受信機について①未設置の世帯数は②聴覚障害者への対応は

答 ①約6千500世帯（約14%）である。②文字が表示される戸別受信機を設置している。



現在使用されている戸別受信機

その他の質問通告

○校内教育支援センター（不登校支援）の現状を問う



山元 勉
やまもと つとむ

祁答院地域における施設の今後を問う



問 旧いこの村いむた池について、①現在の管理状況は②今後の利活用に向けた問題点と考え方は

答 ①市の普通財産として管理している。②昭和53年の建築から46年が経過しており老朽化が著しく、ホテルとしての利用等には多額の改修経費が必要であることから、施設の在り方について、現在検討中である。

親子が安心できない学校問題への対応は

問 アンケートや相談で発覚したいじめについて、①対応の流れは②どのような関係者で対応するのか。③どれくらいの期間で解決となるのか。

答 ①「いじめを認知→被害者と加害者の特定と事実確認→当事者同士の話し合い→保護者への連絡と加害者の保護者への指導→理解を得た上で加害者とその保護者による謝罪の場を設定」という流れで対応する。②教職員間の共通理解を図り、連携を取りながら継続して見守っていくが、いじめが解決しない、または深刻化した場合は、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの関係機関とも連携して対応している。③事案発生後、「被害者へのいじめのない状態が、少なくとも3か月継続し、被害者が心身の苦痛を感じていない場合」に、いじめが解消したと判断している。



その他の質問通告

①市職員の自治会活動・消防団活動への加入
②国指定天然記念物の管理
③本市の情報発信をしている方々への支援策



上野 真一 本市の農業振興を問う



問 加工用米の確保について、酒造組合やみそ加工組合が、農林水産大臣に陳情に行かれている。本市は県や国に対して何か働きかけを行ったか。

答 まだ行っていないが、国の動向を注視し、場合によっては県の市長会等を通じて要望する等の方法を模索したい。

大雨・台風による防災対策を問う

問 樋脇町杉馬場地区の河川氾濫対策の今後は

答 ことし5月、県が左岸堤防上に大型土嚢400袋を設置し、堤防のかさ上げを行ったほか、下流側の寄洲除去を行い、流下能力の向上が図られている。県からは、今後も現地の状況を確認しながら必要に応じて対策すると聞いている。

中村町飯母地区の対策をどのように考えるか。

答 県からは、現地の状況

を確認しながら必要に応じて対応すると聞いている。市としても、県と連携を図っていく。

問 指定避難所「八重地区コミュニティセンター」の屋内運動場に、エアコンを設置できないか。

答 屋内運動場を避難所とする施設の空調整備は難しいが、スポットクーラーを増やすなど、可能な限り環境の整った避難所運営に努める。

問 指定避難所「入来中学校」のトイレ設置工事に係る進捗状況は

答 6月の設計業務委託完了後、速やかな着工に向けて準備を進めている。

その他の質問通告

- ①富士通跡地における売買や賃貸等の相談状況
- ②熱中症対策



富吉 雄二 キャッシュレス決済による地域経済対策事業



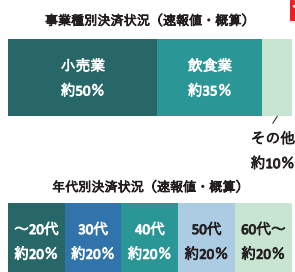
問 当初、専決処分で措置された予算2.5億円をすべて消化した日付は

答 決済事業者から速報値を受けて予測していたが、大型連休の見極めが難しく、終了日（5月31日）を待たずに予算が費消される見込みとなった。

問 事業費4千万円の増額も専決処分とした経緯は

答 市民や事業者への支援につながるのと総合的に判断して事業継続を決めたが、予算額をぎりぎりまで見極めた結果、議会を招集するいとまがなくなり、専決処分となった。

問 事業種別・年代別の決済状況は



問 地域経済対策事業における今後の運営方針は

答 物価高騰対策に係る国の動向等を注視しながら検討していく。

問 今回の決済方式では、アプリを利用できない方は恩恵を受けられない。

決済アプリを利用しない市民の数（予測値）

年代	人数
20代	1,682
30代	2,561
40代	3,578
50代	3,451
60代	5,471
70代	7,188
80代以上	6,680

※高齢者が多い傾向

次回、同様の事業を行う際は、熊本県宇城市が全市民に配布した「スマホ」を使用しないQRコード商品券のような取組を検討できないか。



答 取組の詳細を把握していないため調査してみたいが、経済支援で国の交付金を活用するには、迅速かつ可能な限り全市民に行き渡るサービスが必要と考えている。



中島 由美子 職場における熱中症対策の義務化について問う



問 熱中症対策の義務化において、①対象となる作業とはどのようなものか。②罰則が科せられる可能性もあるとのことだが、どのような罰則か。

答 ①令和7年6月1日に施行された改正労働安全衛生規則により、熱中症対策義務化の対象となる作業は、「暑さ指数28以上または気温31度以上の環境下で、連続1時間以上または一日4時間を超えて実施が見込まれる作業」である。これには、特定の作業場での作業だけでなく、出張先や移動して複数の場所で行う作業なども含むとされている。



②罰則については、熱中症対策として「体制整備」「手順作成」「関係者への

周知」が義務づけられており、これらに違反すると、6か月以下の拘禁刑または50万円以下の罰金が科せられる。

問 地域医療体制検討基礎調査支援事業とは

答 本事業の予算が組まれたが、①医療を取り巻く問題は②実施する調査の目的は

①現在、少子高齢化・医師の働き方改革・医療従事者の不足に伴う過重労働などの要因で、持続的な医療の提供体制が見通せない状況にある。②本調査は、鹿児島大学や県などの有識者を交えた協議会で、将来を見据えた地域医療体制のあるべき姿を議論していく際の基礎資料を得ることが目的である。

その他の質問通告

- 食物アレルギーのある児童生徒への給食提供

道路・河川愛護作業における市の協力体制は

松野 信作



問 刈った草を処理する際、環境課と連携した取組はできないか。

答 事前連絡すれば、川内クリーンセンターの搬入手数料を減免しているほか、本市衛生自治団体連合会が配布するごみ袋で出された草は、可燃ごみ回収日に収集している。

問 河川に繁茂した草木の処理は、急斜面での過酷な作業を含むなど、高齢者には厳しい状況であるため、市による伐採ができないか。

答 要望があった箇所の確認を行い、緊急性の高い場所から対応している。河川愛護作業において、危険な場所での作業が予想される場合は、市へ連絡したきたい。

問 河川に堆積した寄り州を市で除去できないか。

答 要望があった中で、治水安全上、緊急性の高い場所から実施している。

問 来年度の当初予算で、

河川管理維持費を増額してもらえないか。

答 河川の伐採や浚渫の予算には、一部、緊急浚渫推進事業債を充当するなどしている。引き続き、予算の確保に努めたい。



市職員のイメージアップ

問 不祥事からのイメージアップを図るため、地区コミのイベント等への支援ができないか。

答 市職員は日頃から地域活動等に取り組んでいる。また、近年は地区サポーター制度で職員を配置しているほか、若手チャレンジプロジェクトでも若手職員を派遣している(今年度は14地区に延べ44名を派遣予定)。

その他の質問通告

○自治会未加入者対策

市公式LINEの登録促進による広報力の強化

小林 健



問 現在の登録者数と配信状況を、どのように評価しているか。

答 約1.9万人が登録しており、防災や市政情報等を受け取れるほか、市が運用する様々なシステムを搭載しており、市民があらゆる場面で活用できるツールであると考えている。

問 イベント会場等での登録促進に向けた具体的な施策を検討しているか。

答 二次元コードから登録を促すチラシを配布するほか、登録者限定の情報提供も行っている。今後もPR活動に積極的に取り組んでいく。

問 キャッシュレス施策と連動させて登録者数を増やす取組を、今後の施策に取り入れる考えは

答 キャンペーンにより登録者を増やした事例は認識している。本市では、広報内容の質や発信のタイミングを工夫しながら登

録促進を図っており、市民に有益な記事で共感を得られるような情報発信に取り組んでいく。

問 LINEを活用した本人確認や行政手続の簡素化をどのように考えているか。

答 LINEに備わる公的個人認証サービスを活用した本人確認機能を、行政手続に活用した事例は確認している。本市での活用は本人確認を要しないサービス提供等に限定しているが、行政手続のオンライン化推進にあたり、身近なツールであるLINEの活用を含め、市民が利用しやすい環境整備を検討していく。



その他の質問通告

○甌島観光の促進に向けた市民向けの施策

安心して生活できる医療体制構築を

犬井 美香



問 本市における医療の問題や課題は

答 人口減少や少子高齢化に加え、医療人材の不足や医師の偏在化等により、地域の医療機関にとっては厳しい状況である。

※医師の偏在化とは
都市部に医師が集中し、地方では医師が不足している状況。

問 休日当番・夜間当番体制の課題は

答 休日当番については、医師会の会員である医師の高齢化等により、当番医を担う医師の数が減少している。また、年末年始をはじめ、休日が長期間続く際は、当番体制の構築に苦労されている。

夜間当番については、本市の急性期を担う済生会川内病院と川内市医師会立市民病院を中心に、重症患者の治療のために開設しているが、軽症患者による受診が多いため、医療体制が圧迫され、医師や

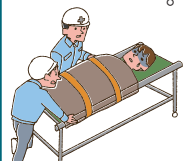
看護師等が疲弊していることから、コンビニ受診を含む、軽症者の夜間受診対策が課題である。

問 夜間の重症救急患者への医療を確保するための対応策は

答 鹿児島県が、救急の相談窓口として救急安心センター事業「#7119」の運用を検討している。この事業の普及・活用と夜間当番医の適正利用を促す広報の在り方を検討するとともに、重症患者のための夜間当番医制度を堅持し、必要な人に必要な医療を提供し続けられるよう、医師会と連携を図りながら進めていきたい。

その他の質問通告

①人口減少対策
②各種団体等における会計の適正管理





宮野 健一

甌島航路の課題を問う



問 新フェリー「結Lineこしき」について、利用者からは「乗船・下船時の安全性に問題がある」、あるいは「従来のフェリーと比較してバリアフリーの面で後退している」といった厳しい意見がある。このような利用者からの問題提起に対し、検討委員会等の協議の場を設置し、現状を正確に把握するとともに、関係機関を交えて総合的に解決策を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 現段階で新船の構想はない。仮に、その段階に至った際には、利用者の声が反映されるよう、協議する必要がある。

問 事故等で運休が長期に及ぶ場合の対応要領は、BCP(事業継続計画)として検討しておくべきだが、県や甌島商船と検討されているのか。

答 現時点では策定していないと聞いているが、いざというときの対応が円滑に行われるよう、甌島商船に策定を要請していく。



結Lineこしき

問 次期高速船の建造に関する構想等はあるのか。また、新船の建造等に際しては、利用者の声を反映する開発体制が必要と考えるが、当局の見解は

答 利用者からの意見は、フェリーを運航する甌島商船に伝えており、6月17日には、意見交換の場を設定して丁寧に説明するよう、市長から直接要請している。

その他の質問通告

- ①第3次薩摩川内市総合計画の推進体制
- ②地方自治における正義とは何か



坂口 健太

すべての世代が住みたくなる市営住宅へ



問 単なる「補修」にとどまらず、若年層や子育て世帯にも魅力的な「デザイン」「機能性」を備えた市営住宅の改修を行う考えはないか。

答 これまでも、浴槽の大型化や給湯器の設置といった機能性改修には取り組んできた。デザイン性等については、本年度見直し予定の公営住宅等長寿化計画の中で、改修計画等を踏まえて総合的に検討したい。

問 若年単身層や子育て世帯に対して、特例的な入居枠を設けるなどの対応策を講じる考えはないか。

答 子育て世帯への入居要件の緩和や地域振興住宅の提供は行っているが、入居枠の拡大については、先進自治体を参考として調査・研究していきたい。

問 市道五代・大小路線と市道永田・下五代線の改良を

問 狭隘な両路線を拡幅

する考えはないか。

答 両路線は延長が長い。まず、狭隘箇所解消から取り組み、離合場所については地域の意見を踏まえて検討したい。

問 市の公共施設や民間施設に、ベビーカー利用者に配慮した駐車スペースを設置できないか。

答 まずは市役所において、提案通りの対応を検討したい。民間施設については、協力要請や設置に関する支援制度の創設を調査・研究したい。



市役所では整備済み

その他の質問通告

- ①指定避難所の環境充実に向けて
- ②久見崎盆踊り「想夫恋」の存続に向けて



山平 達也

高齢者孤独死対策を問う



問 日本では、一人暮らしの高齢者が増加したことに伴う孤独死の増加が社会問題化している。そこで、本市における高齢者の孤独死について、年代別・性別の状況はどのようなになっているか。

答

本市において自宅で亡くなられたひとり暮らしの高齢者数(人)

年齢	男性	女性	合計
65-69歳	8	0	8
70-74歳	7	0	7
75-79歳	12	4	16
80-84歳	6	0	6
85歳以上	7	9	16
合計	40	13	53

【集計期間】令和6年1月1日～12月31日
(川内警察署提供)

問 高齢者見守り確認機器の導入費用を助成する自治体が全国的に広がりつつあり、県内では鹿屋市が取り組んでいる。本市でも助成制度の創設を

答 本市では、見守り確認機器とは異なるものの、緊急通報装置の無償貸与を行っている。見守り確認機器については、現在、多種

多様なサービスがあることに加え、利用者のニーズも多様化していることから、どのような機種があり、どのような機能があれば有効活用できるかなどを調査・研究していきたい。

問 スポーツ合宿の状況を問う

答 令和6年度中に合宿を実施した団体数と、それに伴う経済効果は

問 令和6年度における本市での合宿団体は83団体であり、延べ人数1万2千538人、延べ宿泊数1万4699日の利用があった。経済効果としては、約1億8千万円と試算している。



スポーツ交流研修センター

その他の質問通告

- 自治会加入の取組状況

市内における渋滞箇所の緩和策を問う

屋久 弘文

子ども食堂（コミュニティ食堂）について問う

成川 幸太郎

家族介護用品購入助成（利用券の対象品目を問う）

坂口 正幸

問 県道川内停車場線の川内駅西口前（昭和通り）や、市道向田・高城線の国道3号付近（上川内交差点）といった朝夕の渋滞箇所において、車線や右折レーンの増設、矢印信号機の設定等を検討し、渋滞緩和を図れないか。

答 ①国が定めた20業務中、18業務が本年秋に運用開始予定。②本籍地が本市の方に通知を出し、振り仮名を確認いただいている。③市役所本庁や支所等で登録支援をしている。④対象者の増加に対応するため、概ね第4日曜日の午前中に市民課を開庁している。⑤業務量を把握して適切な人事配置に努め、会計年度任用職員も必要な課所に配置した。⑥移行経費は国の補助金で賄えているが、運用経費は増額見込みのため、国・県と情報共有して経費縮減や財政措置を要望していく。

問 仮名記載③マイナカードにおける⑦保険証の紐づけ④電子証明書等の更新⑤職員配置⑥システム移行や運用に係る経費

答 ①国が定めた20業務中、18業務が本年秋に運用開始予定。②本籍地が本市の方に通知を出し、振り仮名を確認いただいている。③市役所本庁や支所等で登録支援をしている。④対象者の増加に対応するため、概ね第4日曜日の午前中に市民課を開庁している。⑤業務量を把握して適切な人事配置に努め、会計年度任用職員も必要な課所に配置した。⑥移行経費は国の補助金で賄えているが、運用経費は増額見込みのため、国・県と情報共有して経費縮減や財政措置を要望していく。



自治体DXの現状

問 次の5項目の現状は①基幹業務システムの統一標準化②戸籍への振り

その他の質問通告
①安全衛生委員会の現状
②ハラスメント対策

令和6年度における子ども食堂の利用者数

年齢層	利用者数
子ども	8,816
子ども以外	5,243
合計	14,059

問 本市における子ども食堂は何か所あり、利用者はどの程度いるか。

答 令和7年4月1日現在で26か所ある。

問 本市における子ども食堂の位置づけをどのように考えるか。

答 子どもの居場所づくりというだけでなく、ボランティアや高齢者も参加できる世代間交流の場にもなっていることから、人がつながる場所の一つとして受け止めている。

問 運営に対する補助を行っている自治体もあるが、本市においても何らかの形で運営費を補助する考えはないか。

答 子ども食堂は、地域の特色を生かしつつ、関係者の善意に支えられ運営されていることから、市が運営に対して補助制度を新設することは考えていない。しかし、市民活動支援補助金の活動要件と合致する場合などは、それを活用していただきたい。

問 涼みスポットとクーリングシェルターの違いはどうなっているか。

答 涼みスポットは、開いていけばいつでも利用できる施設で、一時的に暑さをしのげる「休憩場所」である。クーリングシェルターは、熱中症特別警戒アラートに基づいて開放義務がある施設で、冷房設備など、一定の要件を満たした「指定暑熱避難施設」である。



問 今年度、介護者からの要望で利用券の対象品目が追加されたようだが、要望さえあれば追加されるものなのか。

答 要望のあった品目は、ケアマネジャーなどの意見を参考にして、利便性が高い消耗品であれば対象に追加している。

問 ポータブルトイレシートを対象品目に追加できないか。

答 昨年の6月定例会で、作業員の意見聞き、効果的な熱中症対策を見極めて取り組む旨の答弁があったが、どのように取り組んできたか。

問 昨年の6月定例会で、作業員の意見聞き、効果的な熱中症対策を見極めて取り組む旨の答弁があったが、どのように取り組んできたか。

答 昨年の即時的な対応としては塩タブレットと経口補水パウダー等を追加配布したほか、空調服を本年度貸与できるよう準備を進めてきた。なお、昨年度、樋脇支所の補修班詰所にクーラーを設置したことで、全詰所へのクーラー設置が完了したところである。

問 介護保険法における手すり設置や段差解消などの住宅改修への補助を問う

答 受領委任払いを前向きに検討できないか。

問 受領委任払いを前向きに検討できないか。

答 実際に改修工事を行う事業者の意向やシステム改修の影響、事務手順

問 介護保険法における手すり設置や段差解消などの住宅改修への補助を問う

答 受領委任払いを前向きに検討できないか。





森永 靖子
もりなが やすこ

可愛小学校とその周辺における 施設整備を問う



問 トイレの洋式化はい
つになるか。

答 本年度内の完成に向
けて調整している。

問 児童数の割にトイレ
数が少ないのではないか。

答 学校からは、大便秘数
で困っている状況にはな
いと聞いている。

問 裏庭にトイレを整備
できないか。

答 現状では難しいと想
定されている。

問 体育館の横(学校側)
の壁木を柵にできないか。

答 学校の意見を確認
し、他の改修も含めて判断
したい。

問 見通し改善のため、通
用門を改良できないか。

答 既存施設の関係で早
急な改良は難しい。

問 PTA会館の横と裏
の木を伐採できないか。

答 学校や地域に確認
し、他校の要望等も考慮
した上で対応を判断して
いく。

問 職員室前のイチョウ

の木を伐採してはどうか。

答 全学校の優先順位等
にも考慮し、計画的に進め
ていきたい。

少子化対策の取組を問う

問 0〜2歳児の保育料
も完全無償化にする考え
はないか。

答 保育所等運営費とし
て、既に市の一般財源を年
間14億円投じている。保
育料を完全無償化にした
場合、さらに年間約2億
円を超える新たな予算を
要する見込みである。本市
ではその同等額で市独自
の軽減策等を措置してい
る。

問 婚活事業のイベント
に、市職員の参加を呼び
かけてくれないか。

答 職員ポータル上で情
報提供し、庁内にもポス
ターを掲示している。



松澤 力
まつざわ いさお

ふるさと納税の 寄付額増に向けて



問 先進地である福岡県
飯塚市のように、繰り返
し支持される魅力的な返
礼品の開発について、今
後の取組は

答 人気のある返礼品の
動向を随時リサーチして
事業者に提案し、飯塚市
の鉄板焼デミソースハン
バーグのような柱となる
返礼品の確立に向けて取
組を継続していく。

**川内原子力発電所におけ
る次世代革新炉の新設に
向けて**

問 将来にわたる電力の
安定供給のため、安全性
を高めた次世代革新炉の
新設を前向きに協議する
必要があると考えるが、
市長の考えは

答 「九電グループ経営ビ
ジョン2035」において、
次世代革新炉への言及が
あったことは認識してい
るが、設置場所等の具体
的な表明がなされたとは
承知していないため、特にコ
メントはない。



川内原発1号機・2号機

**地域における道路環境整
備と災害対策強化**

問 散歩等で利用する方
も多い中郷上池・下池周
辺の道路環境において、
繁茂している草木や道幅
が狭隘な区間への対策は

答 草木の処理や清掃を
行うとともに、地域の要望
を踏まえながら車の離合
場所や歩行者の待機場所
の整備を検討していく。

問 12月議会で質問し
た、銀杏木川周辺におけ
る冠水対策のその後は

答 流域治水対策詳細
設計業務委託で、銀杏木
川が増水した際に中郷川
に排水する水路の設計を
行った。工事は、令和8年
の出水期までの完成を目
指している。



井上 勝博
いのうえ かつひろ

川内原発3号機増設計画 「凍結」の意味を問う



問 同計画は現在凍結中
だが、①「凍結」の意味は
②凍結解除となれば、福
島第一原発事故以前の設計
で建設再開となるのか。

答 ①計画や議論が中断
された状態である。②3号
機計画の凍結解除は仮定
の話であり、コメントはな
い。

問 九州電力が次世代革
新炉の開発・設置を検討
しているが、市の見解は

答 設置場所など、具体
的に表明されてはいないた
め、特段の見解はない。

**小中学校を含む公共施設
に生理用品の設置を**

問 生理用品は、人権・衛
生・ジェンダー平等の観点
から、全トイレに設置す
べきだが、公共施設にお
ける生理用品の設置につ
いて、①どのような対応
をしているか。②今後拡
充する考えはないか。

答 ①約半数の小中学校
のトイレに設置しているほ

か、市役所や図書館等の
トイレには相談窓口の紹
介チラシと共に設置し、
市内11か所の窓口におい
ても無償提供している。

②管理や予算の問題もあ
り、今のところ拡充は考え
ていない。

**希少なベッコウトンボの
生息地を新たに発見**

問 久見崎みらいゾーン
付近の市有地で多数の
ベッコウトンボが確認さ
れていることについて、
市の率直な感想は

答 久見崎川右岸にて、
ベッコウトンボの新たな生
息地が確認されたことは、
興味深く捉えている。

その他の質問通告

①学校給食費の無償化
②訪問介護事業所支援
③小中学校等の修繕費用

④学校給食費の無償化
⑤訪問介護事業所支援
⑥小中学校等の修繕費用

⑦学校給食費の無償化
⑧訪問介護事業所支援
⑨小中学校等の修繕費用

⑩学校給食費の無償化
⑪訪問介護事業所支援
⑫小中学校等の修繕費用

⑬学校給食費の無償化
⑭訪問介護事業所支援
⑮小中学校等の修繕費用



ベッコウトンボ

6月定例会このようになりました

会 期	令和7年6月10日～令和7年7月4日（25日間）		
議決等件数	原案可決	17件（条例5件、予算6件、その他6件）	
	承認	3件	同意 1件
請 願	採択	1件	陳 情 採択 1件

付託先凡例

- 総文：総務文教委員会
- 生福：生活福祉委員会
- 産建：産業建設委員会

議決結果



※『6月定例会 このようになりました』における「全会一致」は、議長を除く出席者全員が賛成であったことを示します。

主な議案の議決結果等（予算議案を除く）

議案番号	議 案 の 件 名 ・ 概 要	付託委員会	議決結果	
72	薩摩川内市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市長及び行政管理部（契約検査室を除く）を担当する副市長の給料月額を2箇月間減額するもの	-	原案可決	賛成多数
73	薩摩川内市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について 学校給食センターの機能統合に伴い、薩摩川内市立樋脇学校給食センターを廃止するもの （反対討論） 今後の教育行政に求められる姿勢は給食の質の向上であり、給食センターの統合は地元食材や季節を生かした献立を困難にし、子どもの食育や地域の食文化を後退させる。	総文	原案可決	賛成多数
74	財産の取得について 地域防災設備の充実を図るため、自走式トイレカーを1台取得するもの	生福	原案可決	全会一致
75	防災行政無線システム更新事業（第2期）工事請負契約の締結について 本市が施行する上記の工事について、契約を締結するもの	生福	原案可決	全会一致
76	防災行政無線システム更新事業（第1期）工事請負契約の変更について 上記の工事について、施工内容の一部変更に伴い、契約の変更をするもの	生福	原案可決	全会一致
77	薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について 個人の住民税における特定親族特別控除の創設、市たばこ税における加熱式たばこの課税方式の見直し、その他所要の規定の整備を図るもの	生福	原案可決	全会一致
78	薩摩川内市甌島旅客待合施設条例及び薩摩川内市川内港待合施設条例の一部を改正する条例の制定について 甌島航路に係る旅客待合施設各所について、使用料の取扱い等を統一するほか、所要の規定の整備を図ろうとするもの	産建	原案可決	全会一致
84	薩摩川内市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 選挙事務に従事する者の報酬額を改定するもの	総文	原案可決	全会一致
85	損害賠償の額を定め、和解するについて 公用車による交通事故に関し、損害賠償の額を定め、和解するもの	産建	原案可決	全会一致
87	公平委員会委員の選任について 公平委員会委員1名が退任されたことに伴い、その後任者を選任しようとするもの	-	同 意	全会一致

※予算議案については、P2をご確認ください（いずれも原案可決されました）。

請願の処理状況

請願番号	請 願 の 件 名	紹介議員	提出者	付託委員会	議決結果	
3	地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願書	犬井 美香	薩摩川内市 職員労働組合	総文	採 択	全会一致

陳情の処理状況

陳情番号	陳 情 の 件 名	提出者	付託委員会	議決結果	
4	「学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書」の提出を求める陳情	学校における新しい生活様式を実現する会	総文	採 択	全会一致
5	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出を求める陳情	学校における新しい生活様式を実現する会	総文	継続審査	-

写真：第3委員会室

私たちが慎重にチェック!

6月定例会では、次の日程で各委員会を開催し、付託された議案や所管事務等を審査しました。このコーナーでは、その一部をご紹介します。

総務文教委員会・・・・・・・・・・6月26日

生活福祉委員会・・・・・・・・・・6月27日

産業建設委員会・・・・・・・・・・6月25日

川内原子力発電所対策調査特別委員会・・・6月30日

※ 各種委員長報告の全文はこちら →



※ 録画中継はこちら →



委員会報告

生活福祉委員会

所管事務

将来世代の負担を見据えた
水道料金の見直しを

◆要望

水道料金の改定については、水道の維持管理に要する経費が高騰してきている中、改定期が遅れることにより、次の世代の負担が大きくなることが懸念されることから、将来を見通して判断されたい。



所管事務

消防操法大会の在り方を考える
団員負担軽減と地域防災力保持の両立を

◆要望

今後における消防操法大会への参加の検討に当たっては、参加する場合は消防団員の負担が可能な限り増えることのないよう、また、参加しない場合でも非常備消防としての機能が失われることのないよう取り組まされたい。



消防操法大会の様子

所管事務

甕島にも
衣類回収ボックスの設置を

◆要望

衣類のリユース・リサイクルに係る実証事業については、回収ボックスの設置場所が全て本土地域であることから、甕島への設置により島民が利用できるように検討されたい。



資源循環サービス
「PASSTO」の回収ボックス

所管事務

支給記録が残せて民生委員の負担も軽減
敬老金支給は口座振込で

◆要望

敬老金の支給方法については、現在、現金支給としているが、支給記録を確実に残すことで、受給者とのトラブルを未然に防ぐとともに民生委員の負担軽減を図るためにも、口座振込による支給方法を検討されたい。



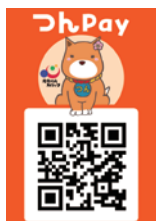
総務文教委員会

所管事務

デジタル地域通貨「つんPay」
更なる普及啓発を

◆要望

デジタル地域通貨「つんPay」は、利用可能店舗が少なく、チャージ機能を持たないことで、使用する場面も限られることから、キャッシュレスキャンペーン等における活用も視野に入れつつ、機能拡充の検討も含めて更なる普及啓発を検討されたい。



所管事務

地区コミュニティ協議会の合併
市からも前向きな関与を

◆要望

地区コミの合併は、地区が抱える人口格差や会長の成り手不足等の課題から、選択肢として考慮すべき段階にあると思われるため、地区の自主的な判断に委ねるだけでなく、市としても一定の指導や支援を行えるよう、前向きに検討されたい。



産業建設委員会

所管事務

高齢化で難航する道路美化作業
補う市の体制の強化を

◆要望

夏場に増加する市道等の除草の要望については、地域の高齢化により道路美化作業が困難であったり、作業範囲が縮小することにより、市で対応する範囲が増加することから、市民の要望に迅速に対応できるよう予算と作業人員の拡充に努められたい。



所管事務

市営住宅の空室対策
地域等と連携して多様なニーズに対応を

◆要望

市営住宅については、特に郊外の集合住宅が長年空室となっていることから、長寿命化計画の見直しの中で、関係課や地域と連携を図るとともに、外国人技能実習生等が入居できるよう前向きに検討されたい。



川内原子力発電所対策調査特別委員会

調査事項

川内原子力発電所の安全対策及び関連する諸問題に関する調査
令和6年度原子力総合防災訓練の振り返り及び令和7年度原子力防災訓練における改善

◆質疑

Q. 原子力防災アプリは、ダウンロード率向上のため、原子力災害に限定せず、風水害・地震等も含めた総合防災アプリの開発を県へ提案してはどうか。

A. 県との協議の中で提案してみたい。



鹿児島県原子力
防災アプリ県HP

◆質疑

Q. 住民の参加は、「住民参加が少ない」「飛び入り参加ができない」などの声があるため、目標人数を設定して自由参加の仕組みも検討すべきではないか。

A. 県との検討の余地はあると考える。日頃から多くの市民が興味を持ち、訓練参加につながるよう取り組みたい。

外から学ぶ

視察の調査結果を、6月定例会で報告しました。
報告内容の詳細は、議会事務局が所管するホームページや、調査報告書にてご確認いただけます。

総務文教委員会

(1) 調査日

5月26日
5月28日



(2) 調査項目

① オルタナティブスクールにおける活動について
【大阪府箕面市】
② 不登校対策について
【大阪府枚方市】
③ リーディングDXスクール指定校・生成AIパイロット校としての活動について
【広島市】

大阪府枚方市 視察状況

生活福祉委員会

(1) 調査日

5月21日
5月23日



(2) 調査項目

① 地域医療について
【長野県佐久市】
② A-等を用いた管路更新最適化サービスについて
【長野市】
③ 福生市防災食育センターについて
【東京都福生市】

長野県佐久市 視察状況

産業建設委員会

(1) 調査日

5月26日
5月28日



(2) 調査項目

① 新規就農者の確保・育成について
【山口県】
② ふるさと納税について
【福岡県飯塚市】
③ 流域治水について
【武雄河川事務所（佐賀県武雄市）】

武雄河川事務所 視察状況

学ぼうよ! 市議会のあんなことこんなこと

大人も子どもも

第2回
市議会議員はどんな人？
まとめ役と仲間づくり

今回は、私たちの代わりに話し合いをしてくれる「市民の代表者」が市議会議員であることをお伝えしました。では、その市議会議員とはどのような人たちなのでしょう。

市議会議員は、選挙による市民の投票で選ばれます。投票できるのは満 18 歳以上の市民で、市議会議員に立候補できるのは満 25 歳以上の市民です。選挙で選ばれた立候補者は市議会議員となり、4年間の任期の中で地域課題の解決等に力を注ぐほか、定期的に行われる会議の中で、さまざまな議題について話し合います。

本市議会の議員数の上限（議員定数）は26名であり、こうした多人数での話し合いを円滑に進めるためには、議会をまとめるリーダーの存在が欠かせません。その役割を担うのが「議長」です。例えるなら、学級会における学級委員長のような存在で、市議会議員の中から選挙によって選ばれます。

また、市議会では、会議での発言力や交渉力を高めるため、考え方や政策の方向性が似ている議員同士が「会派」と呼ばれるグループを作ることがあります。例えるなら、文化祭の舞台発表のテーマを決めるときに「演劇派」「合唱派」「ダンス派」と分かれて話し合うイメージです。

今回のポイント～より詳しく～

※ 1 投票できる（代表者を選ぶ）権利：選挙権

→ 満 18 歳以上の日本国民で、3か月以上継続して市内に住所がある者

※ 2 立候補できる権利：被選挙権

→ 満 25 歳以上の日本国民で、市議会議員の選挙権を持っている者

※ 3 議長の役割

→ 議場の秩序（ルール）を保ち、議事を整理する権限等を持っており、市議会の代表として様々な会議に出席します。

意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画、共生・共助)

◆学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

Feature Article



発言は許可を得てから

きのこの山
VS
たけのこの里

大学生、お菓子の好みで議会を学ぶ! あなたはどっち派?

令和7年5月21日に、保健師を目指す鹿児島純心大学の4年次生が、実習「地域組織実践」の一環で市議会を訪れ、議場において、市議会の役割や構成といった概要について講義を受けました。

その後、議長役や討論する議員の役割を分担し、人気のお菓子「きのこの山」「たけのこの里」に関する論争を題材とした模擬議会を行い、お菓子の好みという身近な話題を通じて、市議会における議論の進め方を学びました。



議場で講義を受けました



「(想定議題)」

市民から提出された陳情(議会(大学)への要望)の審査

模擬議会 議長

『きのこ・たけのこ論争において、鹿児島純心大学が「きのこ派」の立場であることを求める陳情』を議題とします。

クラッカーがシンプルで、
ビターチョコが
大人受けするため、
「きのこの山」
の方が魅力的!



賛成(きのこ派)

9 票

きのこ派の賛成討論



16 票

たけのこ派の反対討論

反対(たけのこ派)



クッキー生地が甘く、
ミルクチョコの濃厚感を
味わえるので、
「たけのこの里」
の方が魅力的!

賛成少数のため、本陳情は、不採択(「たけのこ派」が多数)となりました。

画像提供:株式会社 明治

※模擬議会のため、「中立派」はいない設定です。



議員表彰

全国市議会議長会定期総会において、議員勤続に係る表彰状の贈呈がありました。

本市議会からは、1名の議員が表彰され、7月4日の議員全員協議会で、表彰伝達式を行いました。

【表彰議員】

・大田黒 博 議員
特別表彰（議員25年以上）



本会議を傍聴しよう

薩摩川内市議会では、本会議を傍聴できます。団体で傍聴される場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

※傍聴席は50席あり、傍聴者多数の際は入場制限を設けさせていただきます。

※傍聴席にはモニターがあり、議員の発言が字幕で確認できます。



【連絡・問合せ先】

・議会事務局 ☎ 0996-22-8115
(音声ガイダンス後、内線3010)

第3回（9月）定例会予定

	日	月	火	水	木	金	土
8月	8/24	25	26 本会議 (初日)	27	28	29	30
	31	9/1	2	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6
9月	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 常任委員会	11 常任委員会	12 常任委員会	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24 本会議	25 常任委員会 (決算)	26	27
	28	29 常任委員会 (決算)	30 常任委員会 (決算)	10/1	2	3	4
10月	5	6	7 本会議 (最終日)	8	9	10	11

計 報

帯田裕達議員が去る6月9日にご逝去されました。

故・帯田裕達議員は、平成24年の初当選後、4期にわたって市政発展のためにご尽力され、生活福祉委員会委員長、総合計画基本構想審査特別委員会委員長、議会運営委員会委員長などの要職を歴任されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご生前のご功労とご人徳をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

薩摩川内市議会

議会構成の変更

議会構成に変更がありました。新しい構成は次のとおりです。
(変更箇所…横線部分)

議会運営委員会

委員長
副委員長

成川 幸太郎
松野 信作
宮里 兼実
中島 由美子
坂井 美香
犬井 剛香
山元 勉力
山元 剛香

生活福祉委員会

委員長
副委員長

犬井 美香
中島 由美子
森永 靖子
今塩 裕晃
森満 裕一
坂口 健一
山平 健一
宮野 健一

川内原子力発電所対策調査特別委員会

委員長
副委員長

山元 剛香
森永 靖子
井上 裕一
今塩 裕晃
成川 幸太郎
坂井 美香
富吉 健一
上野 健一
小林 健一

編集後記

日頃より市議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。これまででは読者として紙面に触れてまいりましたが、現在は広報委員として、皆さまに情報をお届けする立場となりました。

近年、地域課題が多様化しておりますが、本紙もそれに伴いアップデートを繰り返し、試行錯誤の末、現在の形に至っております。

私たち議員は市民の代弁者です。これからも、皆さまが知りたい情報を汲み取り、それをわかりやすい紙面でお届けできるよう、委員一同努めてまいります。

残暑の折、皆さまにおかれましては、ご自愛專二にしてお過ごしください。

(山平 達也)

広報委員会

(委員長) 山元 勉
(副委員長) 佐多 貴文
(委員) 山平 達也
富吉 健一
宮野 信作
松野 作



友だち募集中

